

Q\_001

**21世紀のビジネスマンに必要なスキルとは？**

世界中を渡り歩いて、日々、様々な業種の方と会う高城さんが考える、21世紀のビジネスマンに必要な具体的なスキルとはなんでしょうか？

A

自著に何度も書いておりますが、ビジネスマンに限らず、今後大切なのは「英語」と「コンピュータ」だと思います。続いては「国際感覚」と「センス」でしょうか。そして、これだけで十分だと思います。むしろ、残りは「遊ぶ

Q\_001

21世紀のビジネスマンに必要なスキルとは？

こと」に時間を割いたほうがうまくいくと思いますね。どの国でも、スキルはあってもつまらない人とは仕事したいと思わないでしょうから。あえて僕の基準点でお話ししますと、「Eメールで笑いが取ればOK」です。これは極めて簡単なようで、しかし、ある意味TOEICやELTSが高得点でも難しいと思います。すなわち「語学力」とはさほど関係がないからです。こちらが送ったEメールの内容が面白い、興味深ければ、先方は話を聴く姿勢を持ってくれます。そして面白いメールほど、レスポンスも早いものだと思います。ここに「英語」と「コンピュータ」、そして「国際感覚」と「センス」が凝縮していると思いますよ。

Q\_002

**国際感覚とは？**

国際感覚という言葉は、受け手によって解釈が異なると思っています。解説をお願いします。

A

国際感覚というと大きさに聞こえるかもしれませんが、実はこれ「今の世界の中の自分の立ち位置」と置き換えてもいいと思います。日本において、自分という存在は「だいたいこんなもの」と理解できるかもしれません。キャリアや収入、特殊技能や趣味まで様々ありますが、おおよその見当はつくのではないかと思います。では、世界においてご自身の立ち位置は、

Q\_002

国際感覚とは？

どのあたりにあるのでしょうか？ 一般的に国際感覚と言えば、各国によって違う（もしくは共通する）常識や、やり方のようなものを指すんだと思いますが、世界における己を知ることには、実は世界を知らなくてはわからないことです。そして世界は常に大きく動いていますので、「今の世界」を知ることが、結果、国際感覚を養うことに通じます。僕らは世界の東のハジにある小さな島国の人々で、戦後から20年ぐらいは、米国の庇護のもとに大きく経済成長をした、それなりにお金持ちの人々で、また極めて内向きな人種です。これを卑下するのでも誇示するのでもなく、それなりに正確に理解することから色々なことが始まるのです。そこから「今の世界のルール」のようなものが見えてく